



掻い掘りで干上がった三田御池 (土谷氏提供)



御池掻い掘り濁流が三田大橋下流で合流 (土谷氏提供)



下流域の今年度改修工事箇所と内容の全容揭示された



三田大橋下流改修工事始まる。(土谷氏提供)



南部橋架け替え工事再開

三田御池は年 1 回干し上げられるようで、干し上げ時期の池と泥水排水ッ状況が寄せられた。次シーズンには泥水排水の水質調査を行って武庫川本流への影響評価も試みる必要がある。三田大橋下流で進められている工事は整備計画に記載はなく三田市水道下山取水口の改修・補修工事だろうと推測できる。

今年度の下流域の改修工事箇所・内容が揭示され下流域で行われる工事の全容が分かるようになった。南部橋架け替え以外は矢板打ちなど低水護岸強化工事と一部分の拡幅が主な工事内容で、工事期間のドライエリア用の土嚢づくりが武庫大橋下流で進められ砂州の砂を掘って土嚢に詰める作業が大規模に行われ砂床構造が変わるものと思う。掘削されて砂州が小さくなった後に新しく柔らかい河床になればアユも喜ぶだろうと思う。遡上シーズンまでに工事が終わる事を期待したい。南部橋架け替え工事は大きな機材と大形建設機械が導入され大規模な工事になるだろうが、南部橋下を掘り下げ搬入路づくりや工事区域を柵で覆う工事が進められ工事が市民生活に影響を及ぼすことはないと思う。低水護岸工事が 3 堰まで完成して南部橋架け替えが終わると潮止め堰撤去がはじまるのだろうが、阪神橋梁右岸側で改修工事が行われていた。他に比べて見える阪神橋梁橋脚補強の必要がないのか気になる。